

学校教育目標	い : いきいきとした心と体をつくる子(体) ま : 学びをいかそうとする子(知) じ : 自分とみんなを大切に作る子(徳) ゆ : ゆめをもち人の役に立とうとする子(公) く : 暮らしをよりよくしようと世界に目を向ける子(開)				
	学校概要	創立 55 周年	学校長 島田 恒弘	副校長 三ヶ月 章	2 学期制 一般学級: 18 個別支援学級: 5
児童生徒数: 591 人		主な関係校: 今宿中学校、鶴ヶ峯中学校、今宿南小学校、今宿幼稚園、ちとせ保育園			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	今宿中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈自分づくりに関する力〉 〈問題発見・解決能力〉	今宿中学校 今宿小学校 今宿南小学校	自ら学び 人や社会とつながり よりよい未来をともに創る人 ～ふれあい のばしあい ささえあい～ ----- 【知】自ら学び、考えを深め、学びを活かそうとする力 【徳】物事を多面的・多角的に考え、自分と仲間を大切に、互いを高め合おうとする心 【体】基本的な生活習慣を身に付け、たくましい心と体をつくる行動力 【公】人とのつながりを大切に、地域や社会のために協働する力 【開】様々な経験やコミュニケーションをもとによりよい未来をともに創ろうとする志

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ○学校教育目標具現化に向けて資質・能力と教育活動を常に見直し、心豊かで主体的に学ぶ児童の育成に取り組めます。 ○信頼される学校づくりのために、学校広報、学校評価の充実、地域連携、コンプライアンスの徹底、安全管理等に取り組めます。 ○効率的な学校運営を実現するために、人材育成、校内組織、環境整備、情報の共有化、校務のICT化等に取り組めます。
---------------	---

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知(知)	①主体的に学ぶ姿勢を育てるために授業研究会や少人数指導を実施する。 ②朝学習・読書、家庭学習(課題と自主学習)を活用し主体的に学ぶ姿勢と基礎学力の定着を図る。 ③教科領域の研修等を実施する。
担当 研究、校内教科領域推進係	
豊かな心(徳)	①「道徳の時間」のカリキュラム改善と社会的スキルプログラム(学年3つ)の実践に取り組む。 ②ふれあい活動、あいさつ運動を継続し、いろいろな人と絆を深める活動を実施する。 ③人権研修を行うとともに人権教育に根差した授業を行う。また様々な立場を理解する授業を行う。
担当 道徳教育係、児童委員会	
健やかな体(体)	①体力の状況を把握し自らの運動習慣を改善しようとする態度を育て、運動時間の増加に取り組む。 ②健康状態を把握し自らの健康・安全を図ろうとする態度を育て、よい生活習慣の定着に取り組む。 ③栄養職員や食育係とともに、非喫食率の改善や栄養・バランス等の授業実践に取り組む。
担当 食育・保健係、体育科係	
キャリア教育(公)	①効果的な自分づくりパスポートを作成し、自らできることを考え行動する力を育てる。 ②地域と連携した学習を通して、地域貢献・社会参画する力を育てる授業を行う。 ③SDGsを意識して学習をまとめ、夢をもち人の役に立とうとする授業を行う。
担当 特別活動係、行事係	
国際教育(開)	①外国語活動、外国語授業の授業改善に取り組むとともに、職員研修を実施する。 ②SDGsを意識して学習をまとめ、暮らしをよりよくしようと、世界に目を向けようとする授業を行う。 ③プログラミング教育、オリンピック・パラリンピック教育の授業実践に取り組む。
担当 国際・外国語係、総合係、情報係	
児童理解・指導	①「今宿スタンダード」をもとに、朝会等も活用して統一した指導をし、問題行動の未然防止に努める。 ②診断やYPアセスメント等を活用して指導計画を作成し、児童の実態に応じた指導を行う。 ③関係機関や家庭と連携して支援計画を作成し、児童を中心に据えた特別支援教育を行う。
担当 児童委員会	
安全管理	①避難訓練を実施し、いざという時に素早く避難できるように指導する。 ②児童の安全を守るよう職員研修を実施する。 ③施設点検、安全点検を実施し、不備な点があった時には迅速な対応に努める。
担当 総務、用務、事務	
信頼される学校づくり	①学校広報、学校評価を充実させる。 ②PTAや地域と協力し登下校の安全を図る。また、関係機関と連携してスマホの危険を啓発する。 ③不祥事防止研修を実施し、市民から信頼される学校づくりに努める。
担当 副校長、情報係、研究	
いじめへの対応	①定期的なアンケートや保護者面談等で児童の状況を把握し、早期発見に努める。 ②いじめ防止対策委員会を定期的に関き、いじめに組織的に対応し心に寄り添った解決に努める。 ③児童支援専任・副専任を中心に、常に情報共有を図り、早期発見、早期対応に努める。
担当 児童委員会	
人材育成・組織運営(働き方改革)	①キャリアステージに応じた目標を設定する。 ②校務のICT化、マニュアル化、情報共有化を促進し、働き方改革を推進する。 ③運営委員会、校内教科領域推進係を効果的、効率的に運営し校務の充実とスリム化を図る。 ④学年会、メンター研でOJTに取り組む。
担当 副校長、各主任	